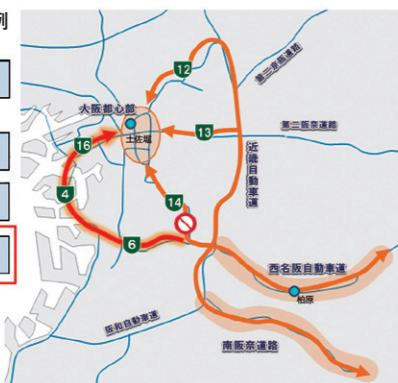


阪神高速をご利用の方にはう回路などの案内を徹底します。

工事期間中は阪神高速14号松原線の喜連瓜破から三宅JCTまでの区間が上下線とも通行止めになりますが、阪神高速をご利用の方には、6号大和川線などの高速道路を利用したう回の案内を徹底するとともに、通行止め前のルートと同一の料金でご利用いただけるようにするなど、交通影響を極力抑える対策を実施いたします。

■ 柏原→土佐堀の利用料金例

普通車/ETC車	14ルート	16.5km	1,110円
※松原線は通行止め前の料金			
12ルート	33.5km	1,110円	
13ルート	20.7km	1,110円	
6ルート	27.8km	1,110円	



大阪都心部の対象の発着出入口



阪神高速の通行止区間



安全・安心・快適な道路を100年先まで

阪神高速リニューアルプロジェクト



喜連瓜破付近 橋梁大規模更新工事 NEWS

2022 Vol.1



2022年6月1日(水) AM4:00~瓜破交差点直上で

橋梁の架替え工事をはじめます。

長期にわたる工事になりますがご理解とご協力をお願いいたします。

VOICE 工事をはじめるとあって

平素は阪神高速の事業にご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

今回工事を行う橋梁直下の瓜破交差点は、自動車はもちろん、自転車の交通量も大阪府内の調査箇所の中では6番目に多く、地域の皆様の日常生活や企業活動と密接に関わっていることが事前の調査でも明らかとなっており、計画にあたっては周辺の方々のご負担を可能な限り低減することが重要と考えました。

そこで、工事に伴う交通の流れに関する予測や、有識者を交えた実施検討会において、さまざまな工法や周辺道路の交通影響対策につい

て議論を重ねた結果、今回の工法が周辺への影響をトータルとして最小限に抑えられると提言いただき、決定に至りました。

今後は安全・安心を第一としながら、工事期間を少しでも短くするよう工事を進めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

阪神高速道路株式会社
管理本部 大阪保全部長
吉原 聡



TOPICS

瓜破交差点(南東側)に橋梁架替え工事情報館(仮称)が6月頃オープン!

工事の必要性や工法の説明、進捗情報などを詳しくご説明する「橋梁架替え工事情報館(仮称)」を設置予定です。お気軽にお越しください。



長期にわたり、大変ご迷惑をおかけいたしますが何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。

喜連瓜破付近橋梁大規模更新工事に伴う道路交通情報や経路・料金・工事内容に関するお問い合わせは

0120-84-1620
受付時間/8:30~19:00
※受付時間を延長する期間があります。詳しくは特設サイトをご覧ください。

06-6576-1484
24時間受付(年中無休)

14 松原線 喜連瓜破付近 橋梁大規模更新工事

特設サイト
をご覧ください

喜連瓜破 リニューアル

喜連瓜破付近橋梁大規模更新工事とは

阪神高速リニューアルプロジェクトの一環として、阪神高速14号松原線において、喜連瓜破付近の橋梁の架替えを実施する工事です。今回工事を行う橋梁は、供用から約40年経過したコンクリート橋ですが、長期の健全性・耐久性を確保するために、架替え工事を実施します。工事を実施するにあたり、周辺環境や交通量の多い直下の交差点等への影響を抑えることに主眼をおいて計画しています。

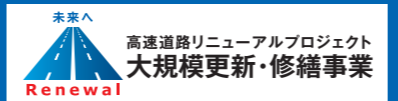


- 工事の概要
- 工事名 喜連瓜破橋大規模更新工事
- 施工場所 大阪市平野区喜連西～瓜破西 付近
- 発注者 阪神高速道路株式会社 管理本部
- 受注者 大成・富士ピーエス・MMB 異工種建設工事共同企業体
- 工事内容 阪神高速14号松原線の喜連瓜破橋の架替え

阪神高速道路株式会社 管理本部 大阪保全部 改築・更新事業課 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-1-4

大成・富士ピーエス・MMB 異工種建設工事共同企業体

阪神高速ソーシャルメディア 公式アカウント



周辺地域への影響を最小限に抑えるため 他に類を見ない工法で橋梁架替え工事をを行います。

喜連瓜破付近橋梁大規模更新工事では、周辺地域への影響を最小限に抑えるため、3年間にわたり阪神高速14号松原線の喜連瓜破から三宅JCTまでの区間を通行止めにして工事をを行います。

開通から約40年が
経過した橋梁を
より安全性の高い橋梁へ
架替えます。

今回工事を行う橋梁は、経年とともに橋桁中央のヒンジ部分を中心に設計時の想定を上回る垂れ下がりが進行し、路面が大きく沈下しました。そこで、ケーブルによる補強等を行い、安全に走行していただける状態で管理していますが、この度、長期の安全性・耐久性を確保するために、架替え工事を実施します。

現状



ヒンジ部※を中心にして徐々に橋桁が垂れ下がる
※桁と桁をつなぐ回転機能を有する装置

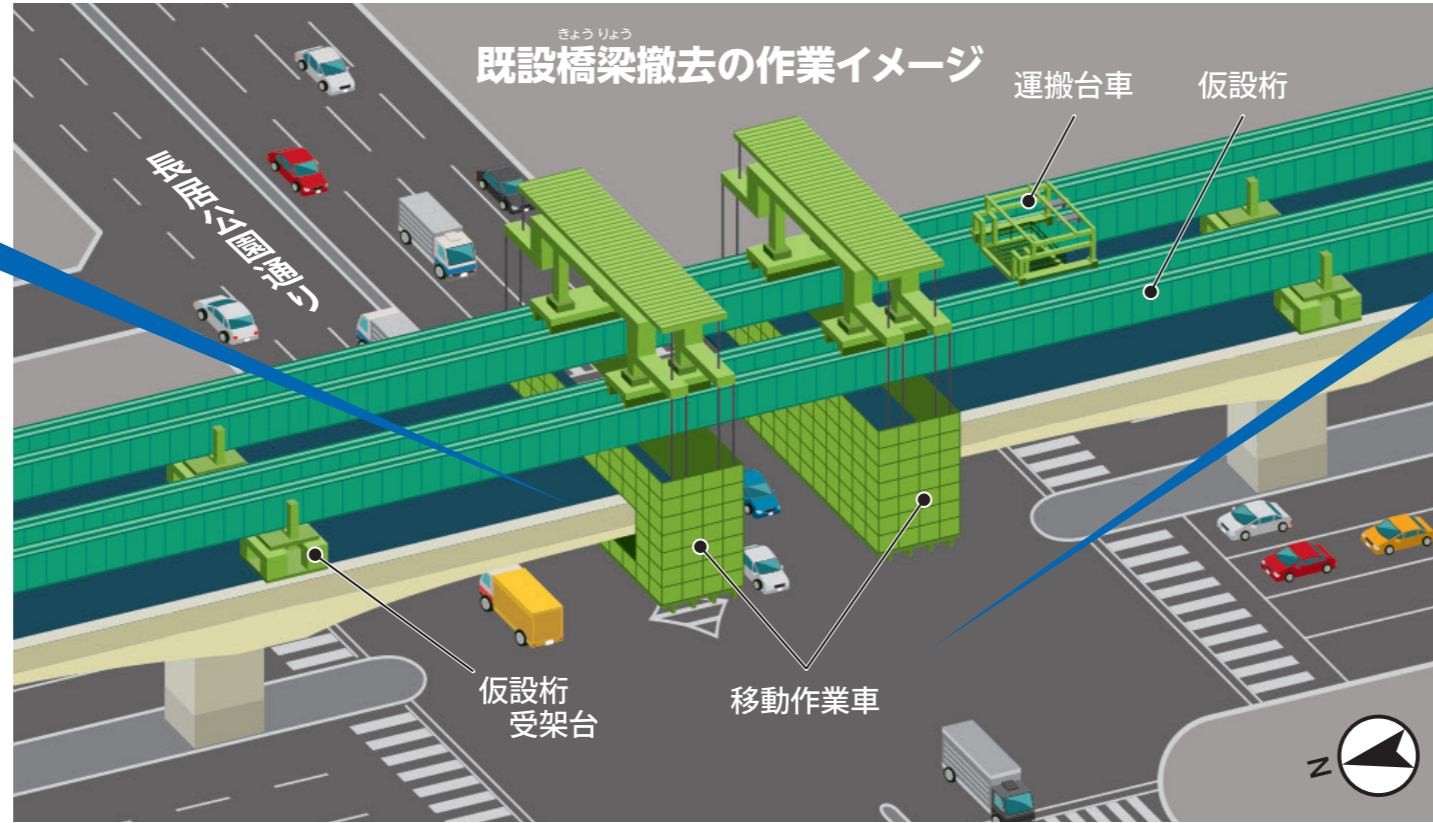
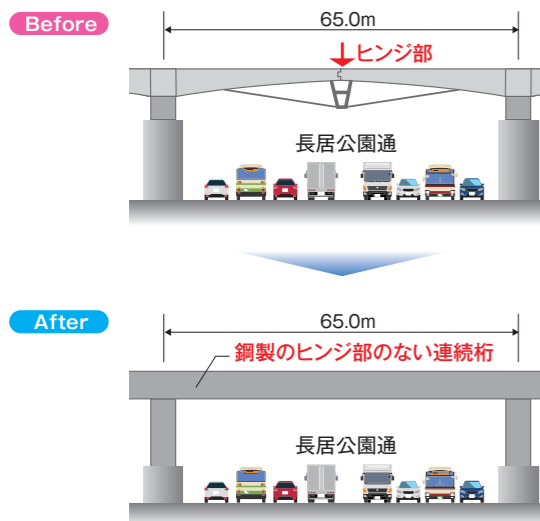
24cm
沈下



そこで、2003年にケーブルで左右から引き上げて中央を持ち上げる対策を実施。しかし、抜本的な解決には至っていません。

橋梁を架替える工事を実施

長期の健全性・耐久性を確保するため、ヒンジ部のない鋼製連続桁への架替え工事を実施します。



周辺地域への影響を最小限としながら、3年間にわたり工事をを行います。

2022年度から2023年度にかけて行う仮設桁の敷設・既設コンクリート橋梁の撤去では、騒音を最小限に抑え、一般道路の通行を妨げない工法を採用。その後の工程では、規制が必要な期間を最小とする工法で橋脚・橋桁の架設を行う予定です。このように騒音や一般道路への交通影響を最小限とする工法を用いることから、約3年間の工事期間を要します。

■橋梁の架替え工事の概略工程

	2022年度	2023年度	2024年度
① 仮設桁の敷設	一般道路の通行を妨げない工法を採用		
② 既設コンクリート橋梁の撤去	一般道路の通行を妨げない工法を採用		
③ 鋼製橋脚の架設	規制が必要な期間を最小とする工法を採用		
④ 鋼製橋桁(側径間)の架設	規制が必要な期間を最小とする工法を採用		
⑤ 鋼製橋桁(中央径間)の架設	規制が必要な期間を最小とする工法を採用		
⑥ 橋面工・付属構造物			

高架下の一般道路の通行を妨げない工法を採用しています。

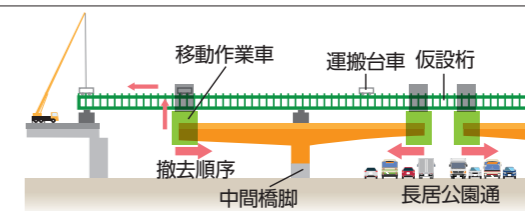
本橋梁の架替え工事を実施するにあたり、既設コンクリート橋を高速道路上で両側から低騒音工法にて徐々に撤去していくなど、一般道路の通行を妨げない工法を採用しています。また、中央径間部は一括架設を行うなど、交通影響を短期間に抑える工法も採用しています。

橋梁の架替え工事の流れ

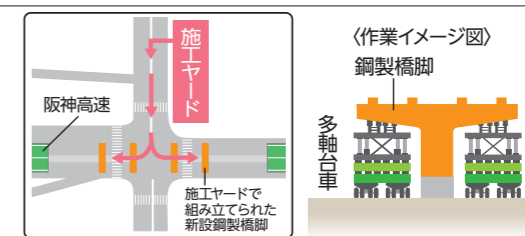
① 仮設桁の敷設



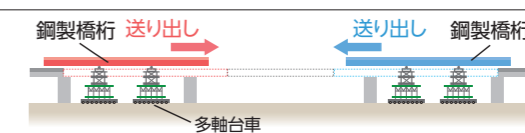
② 既設コンクリート橋梁の撤去



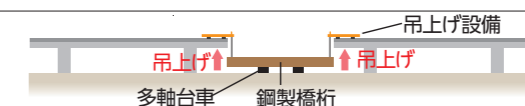
③ 鋼製橋脚の架設(夜間)



④ 鋼製橋桁(側径間)の架設(夜間)



⑤ 鋼製橋桁(中央径間)の架設(夜間)



橋梁の架替え工事の進め方

①

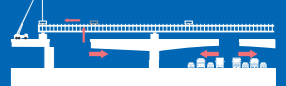
仮設桁を本線上に架設

開始:2022年6月1日(水) AM4:00~



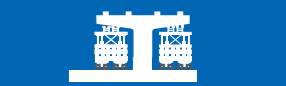
②

既設橋梁を撤去・搬出 2022年冬頃~



③

新設鋼製橋脚の架設 2024年夏頃



④

新設鋼桁の送り出し架設 2024年秋頃



⑤

新設鋼桁の一括架設 2024年冬頃



⑥

舗装・付属構造物の設置 2024年冬頃~

完成:2025年3月末(予定)

動画でわかる
喜連瓜破橋の架替え工事



動画へのアクセスはこちら

